

平成29年度 中部保健所行動計画

※由布保健部を含む。

I 健康寿命日本一に向けた取り組み① ～健康づくりの推進～

- ・臼津、由布地域における健康寿命延伸を図るため、健康寿命延伸対策連絡会（仮称）を開催し、情報共有のうえ、機運の醸成を図るとともに、関係機関による取り組みを促します。
- ・運動を通じた事業所ぐるみの健康づくり等からだの見える化事業を推進し、地域の健康課題解決に向けた取り組みを推進します。
- ・地域・職域連携推進会議の開催や市と協働した健康経営事業所の拡大など地域保健と職域保健の効果的な連携を促進します。
- ・健康応援団の拡大や、うま塩メニュー提供登録店の拡大など健康づくりの環境整備に取り組みます。

I 健康寿命日本一に向けた取り組み② ～地域包括ケアシステムの構築を目指した在宅医療・介護の連携～

- ・入退院に伴う病院とケアマネジャーとの連携のための情報共有ルールの一層の運用促進など、各市と協働して、切れ目のない医療・介護サービス提供体制の構築に取り組みます。
- ・県が策定する次期医療計画及び次期介護保険事業（支援）計画の情報提供や周知等を図ります。
- ・圏域介護予防検討会の活用等を通して、各市の地域課題の検討や生活支援サービス等の推進に向けた体制整備を支援します。
- ・看護ネットワーク事業を活用し、看・看連携や看護・介護連携等の推進に取り組みます。

II 健康危機管理の拠点としての機能の充実

- ・市など関係機関との災害対策連絡会の開催等を通じて、災害時における医療・保健・衛生各分野の提供体制を再確認するとともに、防災訓練の実施や災害対応備蓄物品の整備等を通じて、災害時においても保健所業務を迅速かつ適切に遂行できる体制の保持に努めます。
- ・健康危機管理連絡会議の開催や感染症の発生に備えた訓練を実施し、関係機関等との連携を強化しながら、健康危機管理体制のさらなる充実を目指します。
- ・施設職員の研修や適時の情報提供等を通じ、施設等での感染症や食中毒の未然防止の取り組みを引き続き支援します。

III おおいたうつくし作戦の推進

- ・おおいたうつくし推進隊の活動支援や環境教育の実施等により市民参加型の環境保全活動を推進します。
- ・立入検査計画に基づく監視指導により事業場排水対策を推進します。
- ・浄化槽法定検査未受検者等への指導や浄化槽の適切な維持管理、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換についての啓発により生活排水対策を推進します。
- ・流域会議の運営を支援し、水質保全に関する取組を支援します。

I 健康寿命日本一に向けた取り組み① ～健康づくりの推進～

現状と課題

【現状】

- ・平成28年度に行われた「県民健康意識行動調査」の結果、管内は喫煙者の割合については他圏域に比べ低い状況にあった。
- ・臼杵市では、「趣味やボランティア活動など、こころの張りがある者」が54.4%と県下で最も低く、津久見市は「BMI25以上の者(肥満の者)」が28.2%と県下ワースト2位であった。
- ・また、由布市では「定期的な運動(週2日、30分以上、1年以上継続)をしているもの」が29.8%と県下ワースト1位で、「運動をするときに安全に歩ける歩道や施設が身近にある」も67.1%と低い状況にあった。
- ・このほか、「疾病別有病率」(*)をみると、糖尿病・虚血性心疾患においては臼杵市・津久見市・由布市がワースト3を占めている。

※平成28年5月診療分大分県疾病分類統計(大分県国保連合会資料)

【課題】

- ・生活習慣病の有病率が高いことから、青壮年期(16～64才)からの望ましい生活習慣の獲得とそれを支援する環境づくりが必要である。
- ・運動しやすい環境整備や趣味等の活動を促進するためには、地域づくりに関係する機関との連携が必要である。

保健所が実施すべき対策

- 1 関連機関等との連携による多様な働きかけの創出
- 2 地域健康課題対策推進事業の実施
～運動を通じた事業所ぐるみの健康づくりの推進～
(1)からだのみえる化事業
(2)事業所まるごとヘルスアップ講座
- 3 地域保健と職域保健の連携推進
(1)地域・職域連携推進会議の開催
(2)市と協働した健康経営事業所の拡大
健康経営講話の実施、登録事業所の拡大
登録事業所に対する認定に向けた支援
- 4 健康づくりの環境整備
(1)健康応援団の拡大(食の環境整備部門、受動喫煙対策部門)
(2)うま塩メニュー提供登録店の拡大(うま塩プロジェクトの推進)

目標指標

- 1 健康寿命延伸対策連絡会の開催 年2回
- 2 地域健康課題対策推進事業
(1)からだのみえる化事業参加事業所 3ヶ所
(2)ヘルスアップ講座への参加機関 40ヶ所
- 3 地域保健と職域保健の連携推進
(1)地域・職域連携推進会議の開催 年1回
(2)健康経営登録事業所 80ヶ所→95ヶ所
健康経営認定事業所 25ヶ所→30ヶ所
健康経営講話の参加事業所数 60ヶ所
- 4 健康づくりの環境整備
(1)①食の環境整備部門 30ヶ所→31ヶ所
②受動喫煙対策部門 30ヶ所→41ヶ所
(2)うま塩メニュー提供登録店 4ヶ所→5ヶ所

I 健康寿命日本一に向けた取り組み② ～地域包括ケアシステムの構築を目指した在宅医療・介護の連携～

現状と課題

【現状】

- ・中部保健所圏域では、他保健所圏域に先駆け、「入退院に伴う病院とケアマネジャーとの連携のための情報共有ルール」(以下、「入退院時ルール」という。)を、平成27年4月から運用開始し、在宅医療・介護連携推進のための基盤を整備した。
- ・平成28年度の実態調査およびヒアリングでは概ね順調に運用できているが、「ケアマネジャーから病院への連絡が徹底されていない」「有床診療所との連携強化が必要」「急な退院でサービス調整に苦慮する」等の課題があることがわかった。
- ・地域における医療提供体制のあるべき姿を示した「大分県地域医療構想」が平成28年6月に策定されたが、29年度はこれに基づき「医療計画」及び「介護保険事業(支援)計画」の改定が予定されている。

【課題】

- ・「入退院時ルール」においては、引き続きケアマネジャーや医療機関に周知を行い、連携がタイムリーにできるよう支援する必要がある。
- ・平成30年度までに各市が実施する在宅医療介護連携等の地域支援事業を推進するため、保健所には広域的・技術的支援が求められている。
- ・地域において切れ目のない良質で適切な医療を効率的に提供する体制の確保が重要であり、同時期に改定される「医療計画」及び「介護保険事業(支援)計画」については、関係機関への周知等が必要である。

保健所が実施すべき対策

1 各市の在宅医療・介護連携推進への支援

- (1)運用・評価検討会の開催(中部医療圏域)
- (2)入退院時ルール合同会議で在宅医療・介護連携の課題解決を市および関係機関と共に図る。
 - ①関係者への啓発及び顔の見える関係づくり
 - ②有床診療所への運用拡大
 - ③未参加病院の運用開始

2 医療計画と介護保険事業(支援)計画の改定の周知

中部医療圏域連携会議の開催

3 在宅医療介護連携に関係する機関、職種の連携強化

- (1)圏域介護予防検討会を活用し、市の地域課題検討及び生活支援サービス等推進のための体制整備を支援
- (2)地域の看護ネットワーク事業を活用した関係職種の資質の向上と顔の見える関係づくり

目標指標

1 各市の在宅医療・介護連携推進への支援

- (1)運用・評価検討会の開催回数 1回
- (2)①各市と協働して啓発等を実施した回数 3回
 - ②管内有床診療所のルール参加件数 管内診療所の半数
 - ③管内未参加病院のルール参加件数 1病院(中部)

2 医療計画と介護保険事業(支援)計画の改定の周知

関係機関と協議等を行う中部医療圏域連携会議の開催

3 在宅医療介護連携に関係する機関、職種の連携強化

- (1)圏域介護予防検討会の開催
 - ・平成30年度に向けた地域課題の整理
 - ・課題解決に向けた取り組み
- (2)相互交流事業への参加施設の増加
 - ・中部保健所 8施設→18施設
 - ・由布保健部 18施設→20施設

Ⅱ 健康危機管理の拠点としての機能の充実

現状と課題

【現状】

- ・自然災害発生時における危機管理対策として、28年度は南海トラフ巨大地震に伴う大津波を想定した避難訓練の実施や、総合防災訓練の参加、災害時対応マニュアル等の見直し、災害対応備蓄物品の整備等に取り組んだ。
- ・健康危機事案の発生予防と発生時の被害拡大防止を迅速かつ適切に対応することが重要であり、28年度は関係機関の連携強化等のため「健康危機管理連絡会議」を開催、また感染症患者の移送に関する消防本部との協定締結、研修会の開催等に取り組んだ。
- ・感染症や食品による健康被害への対策として、高齢者施設等の実技指導などの職員研修実施、対応マニュアルの見直し等を通じて、施設職員の知識や実技の普及等を行ってきたが、なお感染症の発生事例は毎年各地で散見されている状況である。

【課題】

- ・近い将来発生すると予想されている南海トラフ巨大地震等の大規模災害発生時に保健所に期待される役割は大きく、保健所としての機能を迅速かつ適切に発揮するとともに、市など関係機関と緊密に連携して対応できるよう体制整備を確保する必要がある。
- ・特に、地域において災害時に中心的役割を果たす「地域災害医療コーディネーター」の配置とそれに伴う体制の整備が課題である。
- ・健康危機事案では、所内及び関係機関との情報共有、連携を強化し、その発生に備えた体制整備に取り組む必要がある。新型インフルエンザの対応や、エボラ出血熱等の新興、再興感染症の対応、デング熱等蚊媒介感染症発生の備えについては、関係機関、団体との連携を含めた体制の整備を進め、その対応の強化を図っていく必要がある。
- ・高齢者施設等の感染症等未然防止や拡大防止のため、適切な対応がとれるよう、保健所として引き続き支援を続けていく必要がある。

保健所が実施すべき対策

1 自然災害対応機能の強化

- (1)市など関係機関との連携強化(災害発生時における「地域災害医療コーディネーター」を中心とした体制の整備)
- (2)保健所業務を継続できる体制の確保
- (3)災害対応備蓄物品の充実整理
- (4)災害時対応マニュアル等の整理

2 健康危機管理体制のさらなる充実

- (1)市、消防本部などとの情報共有、体制整備の推進
- (2)新型インフルエンザ、エボラ出血熱等の発生に備えた訓練
- (3)健康危機管理対策備蓄物品の充実

3 感染症や食品による健康被害の未然防止の強化

- (1)感染症や食中毒の未然防止と感染拡大防止の取組
- (2)感染症情報の適時適切な情報提供と認知度向上

目標指標

1 自然災害対応機能の強化

- (1)臼杵市等関係機関との災害対策連絡会の開催
- (2)防災訓練の実施(2回)、衛星携帯電話等訓練の実施(随時)
- (3)災害対応備蓄物品の整備
- (4)災害時対応マニュアル、アクションカードの作成(由布)

2 健康危機管理体制のさらなる充実

- (1)健康危機管理連絡会議の開催(各市1回)
- (2)新興・再興感染症等の発生に備えた訓練の実施(1回)
- (3)健康危機管理対策備蓄物品の整備

3 感染症や食品による健康被害の未然防止の強化

- (1)消毒インストラクター研修の実施(中部:1回、由布:1回)
- (2)あなたのまちの感染症情報の更新(毎週)、iFAXIによる緊急時の情報提供(随時)

Ⅲ おおいたうつくし作戦の推進

現状と課題

【現状】

- ・管内では、おおいたうつくし推進隊が地域で環境保全活動に取り組んでいるが、団体のメンバーや参加者は特定の住民に限られ、新たな参加者の取り込みができていない。また、活動は一部の地域で取り組まれ、拡がりが不十分である。
- ・管内を流れる河川は環境基準を達成しているが、地域の生活排水処理率は県平均73.6%を下回り、一部の河川では「汚れている」等の声がある。
- ・豊かな水環境事業のモデル地域として、湯布院での流域会議及び庄内での流域会議設立準備会の開催を支援している。
- ・湯布院での豊かな水環境事業の一環として、外来魚及び外来藻駆除活動や環境学習に対して、活動に必要な物品等の支援を行っている。

【課題】

- ・地域での環境保全活動を拡大していくためには、活動の情報を効果的に発信し、子どもや若い人たちとともに活動できる環境づくりを進めるなど、うつくし推進隊の活動を支援する必要がある。
- ・地域の水環境を保全するには、浄化槽法定検査未受検者等への指導や浄化槽の適切な維持管理、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換等の生活排水対策を普及啓発していく必要がある。
- ・由布地域では、湯布院は大分川の源流域であることから、モデル地域として活動を引き続き支援するとともに、この取組をさらに下流域に拡げていくことが重要である。

保健所が実施すべき対策

- 1 市民参加型の環境保全活動の推進
 - (1) おおいたうつくし推進隊の活動支援
 - (2) 環境教育アドバイザー派遣による環境教育の実施
 - (3) 水質調査、水生生物調査の実施
- 2 事業場排水対策の推進
 - 立入検査計画に基づく監視指導
- 3 生活排水対策の推進
 - (1) 浄化槽法定検査未受検者への指導
 - (2) 浄化槽法定検査不適正事案への指導
 - (3) 浄化槽の適切な維持管理、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換についての啓発
- 4 水質保全に関する取組の支援
 - 流域会議の運営支援(技術支援・必要物品支給等)

目標指標

- 1 市民参加型の環境保全活動の推進
 - (1) おおいたうつくし推進隊地域連絡会の開催(中部:1回、由布:1回)
 - (2) 環境教育アドバイザーの派遣(3回)
 - (3) 水質調査、水生生物調査(1回)
- 2 事業場排水対策の推進
 - 立入検査計画の作成及び立入実施数
(中部:30事業場、由布:40事業場)
- 3 生活排水対策の推進
 - (1) 未受検者への指導率(100%)
 - (2) 不適正事案への指導(随時)
 - (3) 浄化槽維持管理講習会の開催(中部:2回、由布:4回)
- 4 水質保全に関する取組の支援
 - 流域会議等開催(湯布院:2回、庄内:2回)